

## 船舶事故調査報告書

平成22年10月14日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員 横山 鐵 男（部会長）  
 委員 山本 哲 也  
 委員 根本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成22年7月9日（金） 09時30分ごろ～10時30分ごろの間）
発生場所	不明（香川県小豆島町大角鼻南方沖の播磨灘航路第1号灯浮標の南方1.5海里（M）付近～香川県土庄町王子前漁港A防波堤の間）
事故調査の経過	平成22年8月31日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	モーターボート まつかぜ、5トン未満 280-19283香川、個人所有 6.20m（Lr）×1.64m×0.40m、FRP ディーゼル機関、40.5kW、昭和60年6月
乗組員等に関する情報	船長 男性 67歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和61年6月6日 免許証交付日 平成17年6月27日 （平成23年6月5日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	船首船底に破口等、プロペラ及びプロペラ軸曲損
事故の経過	本船は、船長1人が乗り組んで、平成22年7月9日09時30分ごろ、播磨灘航路第1号灯浮標（以下「第1号灯浮標」という。）の南方1.5M付近で、漂泊しながら釣りをしているところを、他の釣船に目撃された。 本船は、10時30分ごろ、王子前漁港A防波堤灯台から真方位258°140m付近の王子前漁港A防波堤（以下「本件防波堤」という。）中央部に乗り揚げるところを通行人が目撃した。 乗揚を目撃した通行人が、本船に赴いたところ、無人であったことから海上保安庁などへの通報を行った。 船長は、7月16日08時20分ごろ、徳島県鳴門市北灘町沖1km付近において、発見された。 船長の死因は、左右肺うっ血及び胸水貯留と検案された。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 東、風力 2 海象：短い波長の小波、海水温度 24.6℃
その他の事項	船長は、つなぎ作業服、野球帽及び長靴を着用していたが、発見時は、

	<p>上下衣とも下着のみの状態で、救命胴衣を着用していなかった。</p> <p>移動式のいすが、操舵位置の後方の甲板上に倒れた状態で残されていた。</p> <p>本船が乗り揚げた場所は、本件防波堤の先端から約140mの基部付近であった。</p> <p>本船は、本件防波堤に対し、ほぼ直角方向に乗り揚げた。</p> <p>本船は、乗り揚げたとき、クラッチが前進状態で主機が運転されていた。</p> <p>乗揚の約20秒前、乗揚を目撃した通行人が本船を見たとき、操舵位置には誰もいなかった。</p> <p>あじ8尾が船内に残されていた。</p> <p>船長は、いつもは、操舵位置に置いたいすに腰掛けて操舵していた。</p> <p>船長は、ふだん、釣りに出かけたときは、09時30分ごろから10時ごろに王子前漁港に帰ってきていた。船長は、当日、10時30分に帰港する旨を知人に告げていた。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>死因は、左右肺うっ血及び胸水貯留であった。</p> <p>本船は、船長が1人で乗船し、7月9日09時30分ごろ、第1号灯浮標の南方1.5M付近で釣りをしているところを目撃され、10時30分ごろ、無人の状態で本件防波堤に乗り揚げるところを目撃されたことから、この間において、船長が落水したものと考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が第1号灯浮標の南方沖から本件防波堤付近まで航行中、船長が落水したことにより発生したものと考えられる。</p>	